# 2017年3月期 (第2四半期累計期間) 連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社 2016年11月9日

# 目次

<ul><li>業績の概況</li></ul>	P 1
• 業績ダイジェスト	P 2 ~ 3
● 営業利益増減分析	P 4
<ul><li>セグメント別業績状況</li></ul>	P 5
● 四半期別業績推移	P 6~7
• 貸借対照表の概要	P 8
<ul><li>キャッシュ・フロー</li></ul>	P 9
<ul><li>翌期の経営施策</li></ul>	P 10
<ul><li>業績見通し</li></ul>	P 11 ~ 13

## 業績の概況

- 連結売上高は、前年同期に比べて28億円の減収、連結営業利益は、前年同期に 比べて8億円の減益、親会社株主に帰属する当四半期純損失は、為替などの影響 から18億円の損失計上となる。
- 電子部品事業の売上げは、タッチパネルは順調に拡大したが、蛍光表示管および 蛍光表示管モジュールは需要が減少傾向にあり、有機ELディスプレイも、通信機器 用途が不調であったことなどから、前年同期をわずかに下回った。営業利益は、これ らの製品構成の変化があったものの横ばいとなった。
- 電子機器事業の売上げは、産業用ラジコン機器は前年同期並みとなったが、大手パートワーク(分冊百科)販売会社向けコマンド方式サーボの需要が一段落したことなどから前年同期を下回った。営業利益は、売上げの減少から前年同期を下回った。
- 生産器材事業の売上げは、国内市場におけるプレスおよびモールド製品の伸び悩みや主力の韓国市場の低迷などにより、前年同期を下回った。営業利益は、売上げの減少や韓国通貨安の影響などにより、前年同期を下回った。

# 業績ダイジェスト(1)

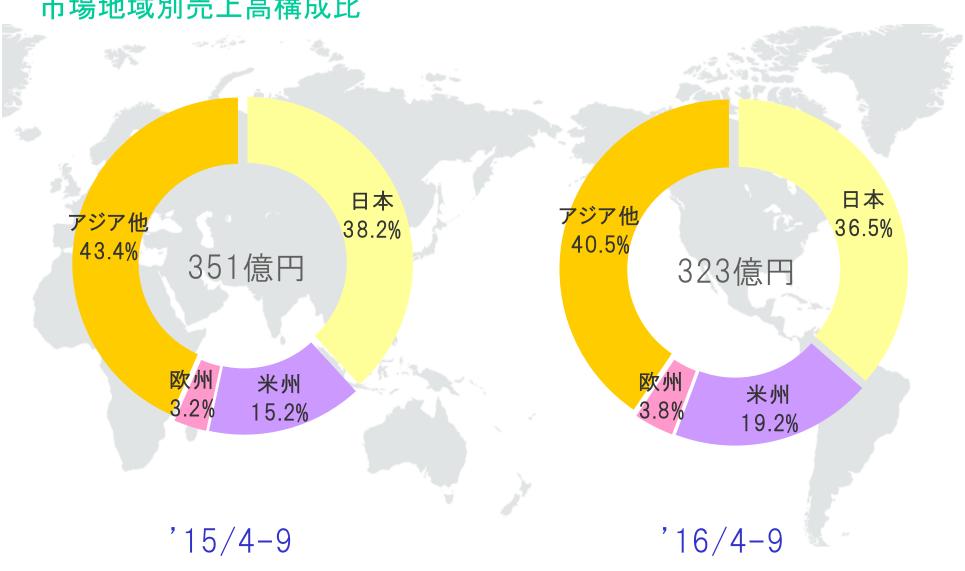
(金額単位:百万円)

	'15年度 (4-9実績)	'16年度 (4-9実績)	前年同期比較	較(上期対比) 比率	'16年度 (4-9計画)	計画差額
売 上 高	35,131	32,308	▲2,822		32,900	<b>▲</b> 591
売上総利益	7,042	6,335	<b>▲</b> 706	90.0%	6,407	<b>▲</b> 71
利益率(%)	(20.0)	(19.6)			(19.5)	
営 業 利 益	654	<b>▲</b> 96	<b>▲</b> 750	_	100	<b>▲</b> 196
利益率(%)	(1.9)	(▲0.3)			(0.3)	
(為替差損益)	<b>(</b> ▲20)	(▲1,285)	(▲1,264)	_	(▲938)	(▲347)
経 常 利 益	976	▲1,155	▲2,132	_	▲600	<b>▲</b> 555
利益率(%)	(2.8)	(▲3.6)			(▲1.8)	
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	190	▲1,835	▲2,026	_	▲1,270	<b>▲</b> 565
利益率(%)	(0.5)	(▲5.7)			(▲3.9)	
平均為替レート	122円/\$	106円/\$	▲16円/\$	87.6%	106円/\$	0円/\$

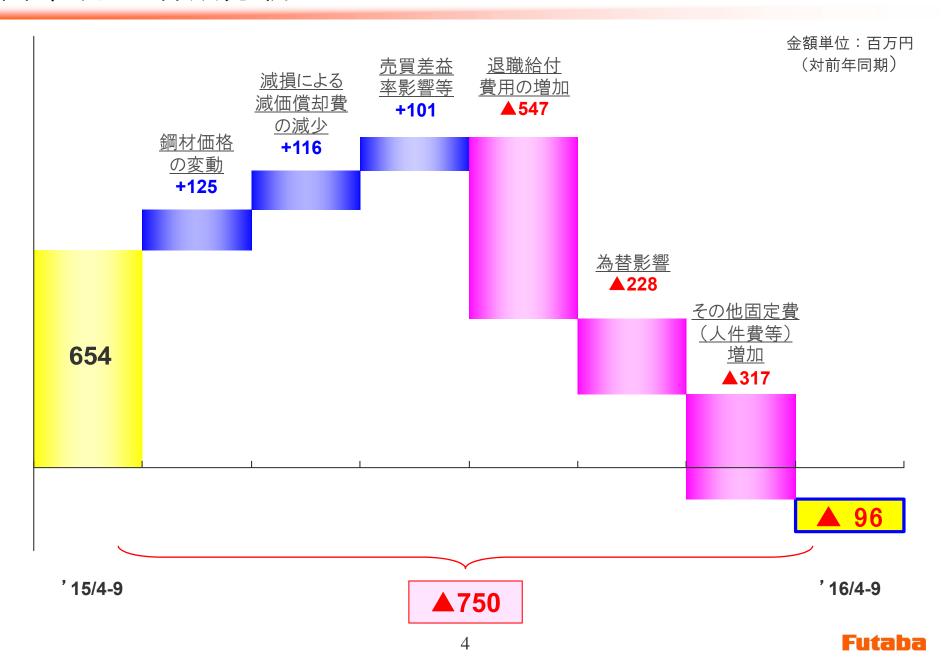
<sup>※</sup>計画は、2016年8月5日に公表した業績予測を使用しております。

## 業績ダイジェスト(2)

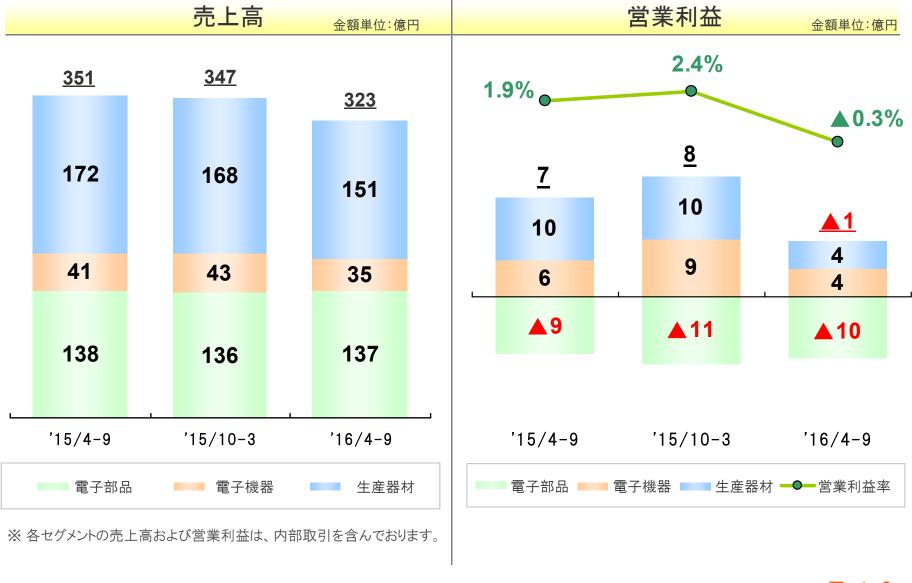
#### 市場地域別売上高構成比



# 営業利益増減分析



## セグメント別業績状況



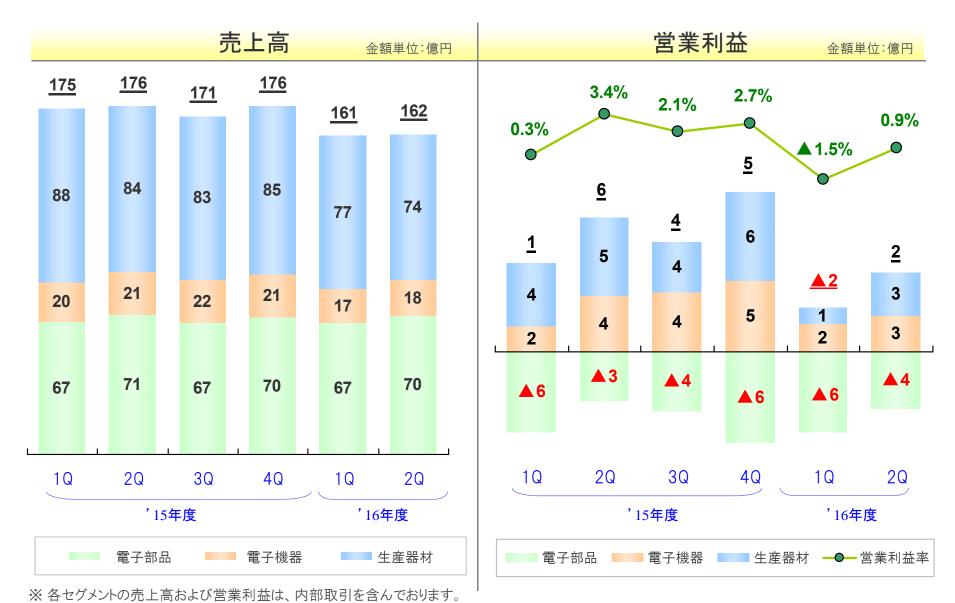
# 四半期別業績推移(1)

(金額単位:百万円)

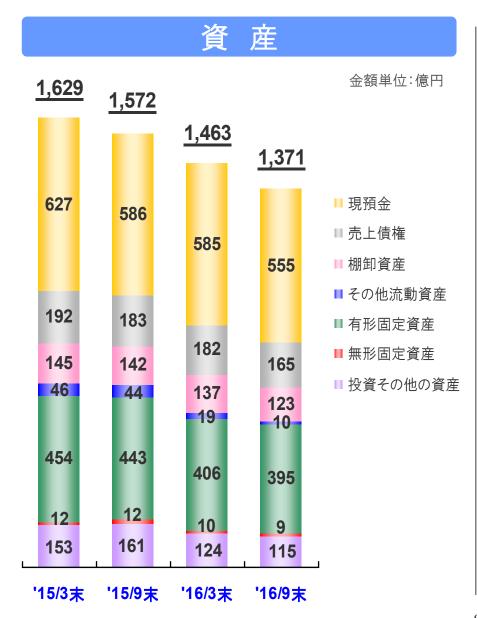
			'15 <b></b> £	丰度		'16年度		直前四半期比		前年同期比	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	比率	増減額	比率
	売上高	6,726	7,079	6,664	6,958	6,680	7,020	339	105.1%	<b>▲</b> 58	99.2%
電子部品	営業利益	<b>▲</b> 564	▲339	<b>▲</b> 417	<b>▲</b> 638	<b>▲</b> 561	<b>▲</b> 400	160	_	<b>▲</b> 61	_
	利益率(%)	(▲8.4)	(▲4.8)	(▲6.3)	(▲9.2)	(▲8.4)	(▲5.7)				
	売 上 高	2,004	2,129	2,169	2,139	1,708	1,790	82	104.8%	▲339	84.1%
電子機器	営業利益	181	392	421	498	199	250	51	125.7%	▲142	63.8%
	利益率(%)	(9.1)	(18.4)	(19.4)	(23.3)	(11.7)	(14.0)				
	売 上 高	8,795	8,396	8,253	8,517	7,715	7,395	▲320	95.8%	▲1,001	88.1%
生 産 器 材	営業利益	440	544	350	624	113	302	188	266.6%	▲241	55.5%
	利益率(%)	(5.0)	(6.5)	(4.2)	(7.3)	(1.5)	(4.1)				
	売 上 高	17,525	17,605	17,085	17,613	16,103	16,204	101	100.6%	▲1,400	92.0%
連結合計	営業利益	57	597	354	484	▲249	152	401	_	<b>▲</b> 444	27.8%
	利益率(%)	(0.3)	(3.4)	(2.1)	(2.7)	(▲1.5)	(0.9)				
平均為替レート		121円/\$	122円/\$	121円/\$	117円/\$	109円/\$	103円/\$	▲6円/\$		▲19円/\$	
期末日為替レート		122円/\$	120円/\$	121円/\$	113円/\$	103円/\$	101円/\$	▲2円/\$		▲19円/\$	

<sup>※</sup> 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

### 四半期別業績推移(2)



### 貸借対照表の概要





# キャッシュ・フロー

(金額	単	廿	÷	百	万	円)
( 344 1955	$\overline{}$	1./	•	$\mathbf{H}$	/ /	1 1/

						(金額単位:百万円)
			'15年度 ('15/4-9)	'16年度 ('16/4-9)	増減額	'15年度 (通期)
	税金等調整前当期純利益		926	<b>▲</b> 1,344	<b>▲</b> 2,271	▲871
	減価償却費		1,961	1,574	<b>▲</b> 386	3,947
	運転資金の増減	売上債権	556	714	157	171
		棚卸資産	<b>▲</b> 72	510	582	<b>▲</b> 110
		仕入債務	343	618	275	1,044
	その他		<b>▲</b> 417	838	1,255	1,280
Ι	. 営業活動によるキャッシュ・フロ	<b>]</b> —	3,297	2,911	<b>▲</b> 386	5,462
	定期預金の増減	<b>▲</b> 1,528				
	有形固定資産の取得・売却	又得· 売却 ▲ 2,323 ▲ <b>2,166</b> 157				
	投資有価証券の取得・売却		<b>▲</b> 1,986	<b>▲</b> 2,545		
	その他		▲13	<b>▲</b> 18	<b>▲</b> 5	▲ 179
Π	. 投資活動によるキャッシュ・フロ	<b>]</b> —	<b>▲</b> 2,732	<b>▲</b> 4,289	<b>▲</b> 1,557	<b>▲</b> 7,547
	配当金の支払		<b>▲</b> 573	<b>▲</b> 599	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 1,181
	自己株式の取得による支出		<b>▲</b> 1,521	<b>▲ 652</b>	869	<b>▲</b> 2,466
	その他		▲281	<b>▲</b> 179	102	▲301
Ш	. 財務活動によるキャッシュ・フロ	<b>]</b> —	<b>▲</b> 2,376	<b>▲</b> 1,430	946	▲ 3,949
	現金及び現金同等物に係る換	1算差額	▲342	<b>▲</b> 1,527		▲1,159
	新規連結に伴う現金及び現金	同等物の増加額	_	291		-
		期首残高		35,463		42,658
	現金及び現金同等物	期末残高	40,505	31,420		35,463
		増減額	<b>▲</b> 2,153	<b>▲</b> 4,043		<b>▲</b> 7,194

## 翌期の経営施策

#### 電子部品事業

- タッチパネルでは、需要拡大が続く純正車載向けの増産対応として、 海外拠点の生産体制充実をはかる。
- 有機ELディスプレイでは、車載用途、ウェアラブルに加え、新用途への 展開により販売拡大をはかる。
- ●生産・開発拠点の最適化によるコスト競争力強化をはかる。
- ●モジュール製品は、ラインナップの拡充により対象市場の拡大をはかる。

#### 電子機器事業

- ホビー用ラジコンでは、魅力ある新製品を継続的に投入することにより、 市場の活性化をはかる。また、生産拠点の最適化によるコスト競争力 強化をはかる。
- サーボ技術を生かしたロボット市場への継続的アプローチ、ドローン等の 新市場への展開をはかる。
- 産業用無線機器では、loTシステム、無人化・効率化・自動化ツールとしての ソリューション提案により販売拡大をはかる。

#### 牛産器材事業

- ■国内および海外拠点の最適化・合理化により収益改善をはかる。
- プレート製品では、設備・装置分野向け製品ラインナップの拡充に加えて、 加工付きなど新用途への展開により、国内販売の拡大をはかる。
- 成形合理化関連製品では、新製品による国内販売の拡大をはかると共に、 中国・アセアン市場における販売体制の充実をはかり、拡販を推進する。

# 業績見通し(1)

(金額単位:百万円)

						'15年度			'16年度		前期比(道	<b></b>	8月公表	
					4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率	通期	計画差額
電	=	子	部	品	13,805	13,622	27,428	13,701	13,998	27,700	271	101.0%	27,300	400
電	=	子	機	器	4,134	4,308	8,443	3,498	3,801	7,300	<b>▲</b> 1,143	86.5%	7,500	<b>▲</b> 200
生	. 2	産	器	材	17,192	16,770	33,963	15,110	15,689	30,800	▲3,163	90.7%	32,100	<b>▲</b> 1,300
売	5	上		高	35,131	34,698	69,830	32,308	33,491	65,800	<b>▲</b> 4,030	94.2%	66,900	<b>▲</b> 1,100
電	=	子	部	品	▲903	▲1,056	<b>▲</b> 1,960	▲962	▲337	<b>▲</b> 1,300	660	-	<b>▲</b> 650	<b>▲</b> 650
			利益	[%)率基	(▲6.5)		(▲7.1)	(▲7.0)	(▲2.4)				(▲2.4)	
電	=	子	機	器	574	919	1,494	449	520	970	<b>▲</b> 524	64.9%	950	20
				[%]	(13.9)	(21.3)	(17.7)	(12.8)	(13.7)	(13.3)			(12.7)	
生	. 2	産	器	材	984	975	1,959	415	514	930	<b>▲</b> 1,029	47.5%	1,500	<b>▲</b> 570
				[%]	(5.7)		(5.8)	(2.7)	(3.3)				(4.7)	
営		業	利	益	654	838	1,493	<b>▲</b> 96	696	600	▲893	40.2%	1,800	<b>▲</b> 1,200
			利益	率(%)	(1.9)	(2.4)	(2.1)	(▲0.3)	(2.1)	(0.9)			(2.7)	
(	為者	<b>季</b> 差	損 :	益)	(▲20)	(▲824)	(▲845)	(▲1,285)	(▲122)	(▲1,408)	(▲562)	_	(▲928)	(▲480)
経	<u> </u>	常	利	益	976	163	1,140	<b>▲</b> 1,155	755	<b>▲</b> 400	<b>▲</b> 1,540	_	1,450	▲1,850
			利益	率(%)	(2.8)	(0.5)	(1.6)	(▲3.6)	(2.3)	(▲0.6)			(2.2)	
親当			に帰属 〕 利	引する 益	190	▲2,136	<b>▲</b> 1,946	▲1,835	35	▲1,800	146	_	200	▲2,000
			利益	率(%)	(0.5)	(▲6.2)	(▲2.8)	(▲5.7)	(0.1)	(▲2.7)			(0.3)	
4	均	為	彗レ		122円/\$	119円/\$	120円/\$	106円/\$	100円/\$	103円/\$	▲17円/\$		104円/\$	▲1円/\$

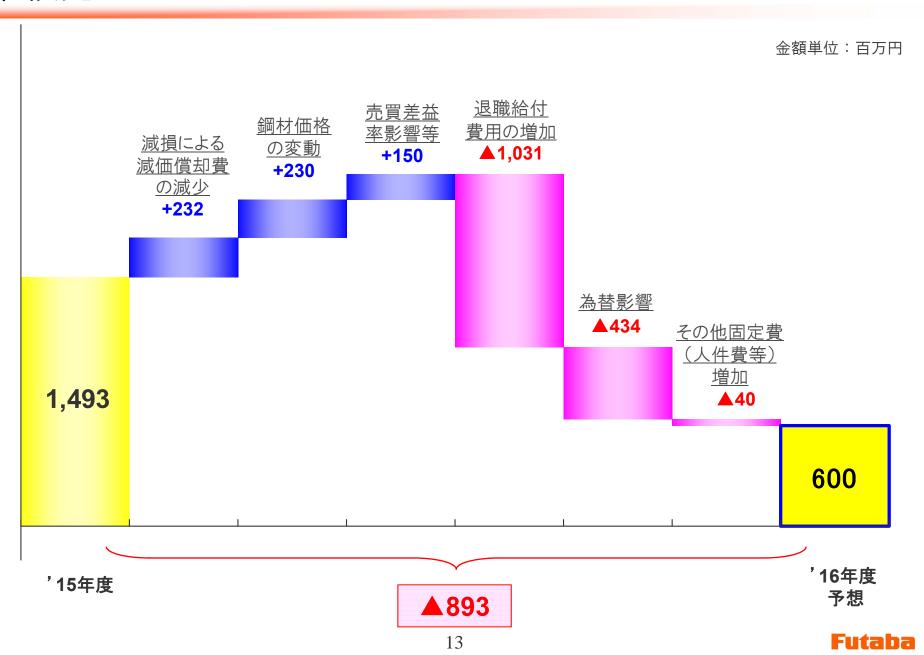
<sup>※</sup> 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

# 業績見通し(2)

(金額単位:百万円)

									(並領半位・日ガロ)		
					'15年度			'16年度		前期比(	通期)
				4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電	子	部	品	929	612	1,541	1,049	3,750	4,800	3,258	311.3%
電	子	機	器	244	69	314	81	218	300	<b>▲</b> 14	95.4%
生	産	器	材	1,163	832	1,995	1,346	1,053	2,400	404	120.2%
設	備	投	資	2,337	1,514	3,852	2,478	5,021	7,500	3,647	194.7%
電	子	部	品	844	906	1,751	680	719	1,400	<b>▲</b> 351	79.9%
電	子	機	器	112	102	215	94	105	200	<b>▲</b> 15	92.7%
生	産	器	材	1,003	976	1,980	799	800	1,600	<b>▲</b> 380	80.8%
減	価	償 却	費	1,961	1,986	3,947	1,574	1,625	3,200	<b>▲</b> 747	81.1%
電	子	部	品	679	718	1,398	751	748	1,500	101	107.3%
電	子	機	器	216	179	396	208	191	400	3	101.0%
生	産	器	材	94	92	186	100	99	200	13	107.0%
研	究	開発	費	990	990	1,981	1,060	1,039	2,100	118	106.0%
	玉	内		1,378人	1,361人	1,361人	1,378人	1,383人	1,383人	22人	
	海	外		3,794人	3,780人	3,780人	3,862人	3,948人	3,948人	168人	
人			員	5,172人	5,141人	5,141人	5,240人	5,331人	5,331人	190人	

# 業績見通し(3)営業利益増減分析



#### ⚠ 注意事項

- 1. 本資料に記載されている業績予想については、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する 一定の前提に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。 実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
- 2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨て、億円は単位未満を四捨五入して表示しています。